

三芳町  
10の魅力  
…  
芸術・文化・スポーツ  
Arts, Culture, and Sports

2018年「三芳町芸術文化のまちづくり条例」を制定。また、高齢化が進む中、健康づくりや体力の向上を図るため、誰もが気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できるよう取り組んでいます。

In 2018, the Miyoshi Town Art and Culture Community-Building Ordinance was established. Given the rapid aging of the population, we are striving to facilitate participation in sports and recreational activities to promote health and increase physical fitness.



感動と創造、  
活気あふれるまち

【受け継がれる郷土芸能】

■お囃子

町に伝わるお囃子は、すべて神田囃子の系統といわれ、旧来のゆつくりとしたテンポの「古囃子」と、幕末から明治にかけて各地で盛んに創作された早いテンポの「新囃子」に分けられます。



竹間沢・藤久保・上富地区では「古囃子」、北水井地区には「新囃子」(重松流)が伝えられています。町内に伝わるお囃子は、すべて町の無形民俗文化財に指定され、芸能の保持・向上と後継者育成に努めています。

■里神楽

神楽とは、神社の祭祀に際して神を迎え、舞を奉納する神事芸能です。竹間沢に伝承する里神楽は、前田家が代々家元を務め、各地の神社の祭祀に招かれて舞を奉納し、神楽面の製作も自ら行ってきました。面や道具は県の有形民俗文化財に指定され、舞は町の無形民俗文化財に指定されています。現在も竹間沢の里神楽は、毎年各地の神社で奉納されるほか、県内外での公演や海外でも披露するなど伝統を守りながら町の伝統芸能を世界に広めようと魅了しています。



■車人形

轆轤車（ろくろぐるま）に乗って一人の遣い手が人形を操る、国内には3地域のみ現存する貴重な伝統芸能です。約160年前の安政年間、前田家へ伝わり、明治時代には盛んに興行が行われてきた。大正時代になると他の娯楽の台頭で人形との記憶から遠ざかりましたが、昭和46年に県が行った調査で人形と道具が発見されると、再び脚光を浴び、復活公演が始まります。現在ではコピスみよしにおける毎年の公演や、小中学校等での訪問公演を通じて町の伝統芸能を内外に発信し、後継者の育成にも力を入れています。

※木箱の内側に前に一つ、後ろに二つ車輪がついて、人形遣いが座ったまま歩くと前後に動きます。後ろに体重をかけるとう前輪が動いて、自由に方向転換が可能です。

【動画】  
竹間沢車人形  
公演の様子



芸術文化の拠点  
文化会館コピスみよし

「ザ・シンフォニエッタみよし」や竹間沢車人形などの鑑賞・公演をはじめ、地域の芸術文化活動の発表・参加など様々な催しが開かれています。コロナ禍においては「無観客でもがんばろー！コンサート」を配信し、芸術文化事業を持続可能にするための支援を呼びかけました。



④藤久保1100-1④049-259-3211  
④月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始

※国内外のプロオーケストラ首席奏者、国際コンクール優勝者や上位入賞者たちから結成。

町のスポーツ拠点  
三芳町体育施設

総合体育館(アリーナ)、総合運動場、テニスコート、弓道場からなるスポーツ総合施設。最新のマシンを用意したフィットネスルーム、武道場、多目的室など様々な運動に適しています。



④藤久保1100-1④049-258-0311  
④年末年始

三芳町体育協会

体育・スポーツを普及させることによって、町民の体力向上を図り、健康で明るい町づくりを寄与することを目的としています。各種スポーツ大会や講習会、レクリエーションの振興などを行い、町の体育スポーツ活動を盛り上げています。野球やテニスなど23の加盟団体と専門部が所属しています。



三芳町体育協会



皆さまの健康・体力づくりのために活動しています!

三芳町スポーツ推進委員  
連絡協議会

地域のスポーツ・レクリエーション活動を盛り上げ、町のスポーツ推進体制の整備を図るため、各行政区等から委員が選出されています。子どもから高齢の方までいきいきと健康・体力づくりができるよう、ラケットテニス、ふらばーのバレー、ポッチャやモルックなど誰もが楽しめるスポーツの教室や研修会を開催しています。また、体育祭や駅伝大会、各区で開催されるスポーツイベントの協力をしています。



パラ競技体験会や、  
パラアスリート  
講演会も実施



みよし大崎ジュニア

小学生を対象としたハンドボールチーム「みよし大崎ジュニア」は総合体育館を拠点として毎週楽しく活動しています。

三芳町にある大崎電気工業の社会人ハンドボールチーム「大崎OSOL」の元選手が指導し、ハンドボールの楽しさはもちろん、思いやりの心、諦めずに挑戦することの大切さ、人と人とのつながりを学ぶことができます。また、他校の児童との交流など貴重な体験もできます。



I♥MIYOSHI

竹間沢里神楽家元  
竹間沢車人形保存会 代表  
前田 益夫さん



車人形の復活公演をしたのは昭和47年のこと。三芳町が誕生したのは昭和45年なので、町の発展とともに歩んできたようなものですね。当時は会社員でしたので、練習できるのは仕事が終わった後の夜のみ。正直大変でしたが、お客さんに喜んでもらえるのが嬉しくて、今まで続けてこれたと思います。車人形・里神楽ともに伝統のともしびを絶やしてはなりません。公演を見たいという人がいる限り、伝統を守り続けていきます。